

2026. 1



(152)

埼玉民主フォーラム



埼玉県議会議員 小川ひさし県議会レポート

特集

大宮工業高等学校創立 100 周年
来年度は新校「大宮科学技術高等学校」へ！



さいたま市北区本郷町にある県立大宮工業高校は、1925年（大正14年）に創立された歴史ある工業高校で、機械・電気・建築などの専門技術を学ぶことができます。卒業生は約2万5千人にのぼります。

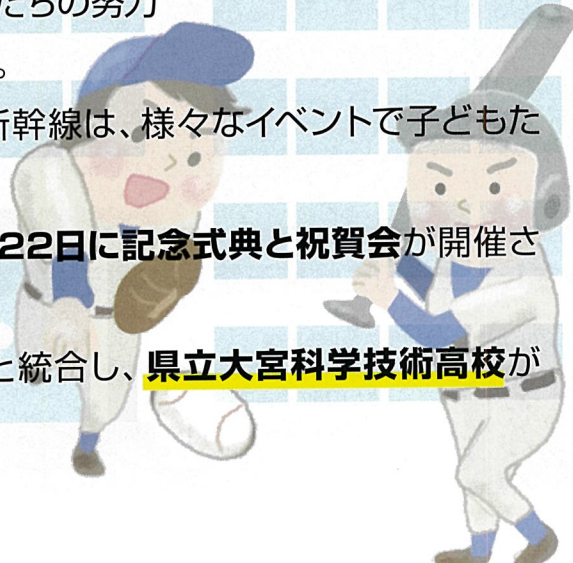
1968年（昭和45年）には春の選抜高校野球で初出場・初優勝を果たし、さらに2019年（令和元年）5月の第34回モデルロケット全国大会では団体優勝と準優勝を同時に獲得し、奨励賞も受賞しました。これらの成果は、同校の技術教育と生徒たちの努力が全国レベルで高く評価された証ですね。



また、同校の生徒さんが製作したミニ新幹線は、様々なイベントで子どもたちに大人気です。

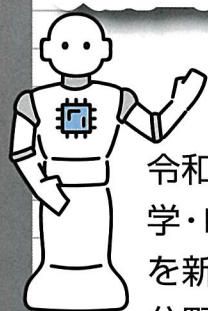
同校は、**本年創立100周年**を迎え11月22日に記念式典と祝賀会が開催されました。

そして、来年度には県立浦和工業高校と統合し、**県立大宮科学技術高校**が開校します。



大宮工業高校、浦和工業高校を統合

県立大宮科学技術高等学校



令和8年4月に開校する、新しい理工系専門高校です。新校では、機械工学・電気工学・ロボット工学・建築デザイン工学に加え、埼玉県で初めてとなる「専門情報科」を新設しました。AIやプログラミング、データサイエンスなど、未来を支える情報分野について深く学び、大学進学に向けての、実践的な専門知識と基礎学力や、また探求力を育む教育を展開していくとしています。

機械工学科(エアロスペースコース)では、航空機および宇宙機を包括的なシステムとして捉え、その設計、流体力学、構造力学について学び、航空宇宙産業を志し大学へ進学する生徒を育成するとしています。



▲工事中の情報サイエンス棟(出典 埼玉県HP)



新しい高校の説明会には、小学生の子どもたちも参加しているようです。小学生の頃から、将来の高校進学目標や夢を持つことができれば、中学校生活も目標を持って学べると思います。ちなみに私は、小学校2年生当時に「将来は漫才師の西川きよしの弟子になる!」と決意して、その目標に向かって一直線に小中高校生活を送りました。(笑)



▲弟子入りから44年が経ちました。

さいたま市立知的障害特別支援学校

11月20日、さいたま市は、令和15年度の開校を目指し、さいたま市として初となる市立の知的障害特別支援学校を、県立浦和工業高校の閉校後の跡地に設置することを決定しました。

市議して、県議として、保護者の皆さんとともに市立特別支援学校の設置について取り組んできました。これまで長年にわたり取り組んで来られた保護者の皆さんのお子さんは、既に成人になられています。しかし、次世代の子どもたちの教育環境の改善を求め、懸命に取り組んで来られた保護者の皆さんに心より敬意を表するとともに、開校するまでの間についても、引き続き、子どもたちの教育環境改善のため全力で取り組んで参ります。



小川ひさし (立憲民主党埼玉第5区総支部幹事長) プロフィール



1964年 大阪市生まれ
1982年 近畿大学附属高校卒業後、西川きよしに師事。
(~4年6か月間の内弟子修行)
1987年 参議院議員西川きよし秘書(私設)
1999年 西川きよし政策担当秘書

2011年 さいたま市議会議員選挙初当選
2015年 さいたま市議会議員選挙二期目当選
2019年 さいたま市議会議員選挙三期目当選
2020年 第15回マニフェスト大賞最優秀政策提言賞受賞
2023年 埼玉県議会議員選挙初当選

趣味: 4人の孫たちと遊ぶこと

発行 埼玉民主フォーラムさいたま市北区支部 小川ひさし事務所

〒331-0813 さいたま市北区植竹町1-719-9-102 TEL 048-669-7270 FAX 048-669-7271

info@ogawa-hisashi.jp

小川ひさし

検索 🔍

<https://ogawa-hisashi.jp/>



2026.2

埼玉民主フォーラム



埼玉県議会議員 小川ひさし県議会レポート

特集

県立高校体育館の エアコンの部活への活用！禁止

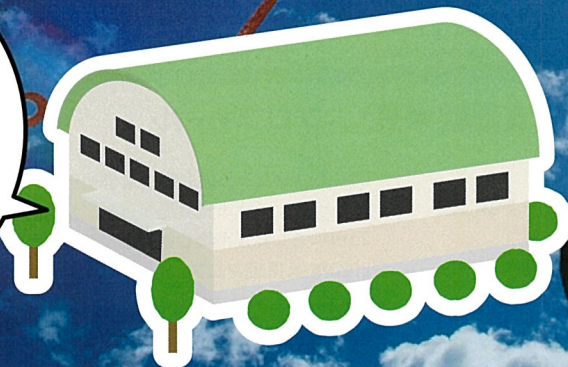
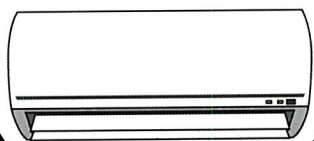
近年の夏の猛暑は、学校生活に深刻な影響を与えています。

特に体育や部活動の中止、行事の延期、教室環境の改善などが必要になっています。熱中症事故防止のため、暑さ指数(WBGT)を基準に活動を制限する動きが全国で広がっています。県議会においては、県立高校や特別支援学校の体育館へのエアコンの設置を求める意見が強く出されています。

埼玉県立高校は、現在137校(さいたま市内で設置されている県立高校は24校)です。そのうち体育館にエアコンが設置、または設置の設計のめどが立っているのは**わずかに24校**です。

エアコン
設置校

24校



2025年の最高気温
熊谷市では41.1℃
さいたま市で39.7℃



これって公平？

不公平？

みんなの疑問 Q&A

県は、県立高校の体育館へのエアコン設置についてはどのような方針なの？

県教育局は、財源に制約がある中で、まずは防災拠点校から設置をしていくとしています。県では、県立高校のうち、地域の中核となる防災拠点校を指定し、災害時の避難施設としての整備を行っています。

県内の県立高校137校(さいたま市内24校)のうち、防災拠点校は**36校**(さいたま市内6校)となっています。

・市内の防災拠点校・

いずみ高校、浦和第一女子高校、
浦和西高校、大宮高校、岩槻商業高校、
浦和北高校

公平？

不公平？

せっかく、子どもが通っている県立高校の体育館にエアコンが付いたのに、そのエアコンが使えるのは、授業や学校の行事のみであって、部活には使わせないというのが、現状です。これって、おかしくないですか？

県議会の一般質問の中でも、「設置された高校においては、部活動の際にもエアコンを活用すべき!」との意見が大多数となっています。

県はなぜ部活には使わせないと言っているの？

日吉県教育長は、「設置されていない他校との均衡を保つため認めていない」と説明しています。この対応が公平なのか？

私は、設置した学校から部活についてもエアコンの使用を認めるべきと考えます。納税者の皆さんはいかがお考えになりますでしょうか？

小川ひさし（立憲民主党埼玉第5区総支部幹事長）プロフィール



1964年 大阪市生まれ
1982年 近畿大学附属高校卒業後、西川きよしに師事。
(～4年6か月間の内弟子修行)
1987年 参議院議員西川きよし秘書(私設)
1999年 西川きよし政策担当秘書

2011年 さいたま市議会議員選挙初当選
2015年 さいたま市議会議員選挙二期目当選
2019年 さいたま市議会議員選挙三期目当選
2020年 第15回マニフェスト大賞最優秀政策提言賞受賞
2023年 埼玉県議会議員選挙初当選

趣味：4人の孫たちと遊ぶこと

発行 埼玉民主フォーラムさいたま市北区支部 小川ひさし事務所

〒331-0813 さいたま市北区植竹町1-719-9-102 TEL 048-669-7270 FAX 048-669-7271

info@ogawa-hisashi.jp

小川ひさし

検索 Q

<https://ogawa-hisashi.jp/>



2026.4

埼玉民主フォーラム



(161)

埼玉県議会議員 小川ひさし県議会レポート



特集

高校生と県議会議員との意見交換会を開催

県議会では、若い人たちに県議会を身近に感じていただき、県政や県議会への関心を高めてもらえるよう、高校生(県立浦和西高校)との意見交換会を1月27日・28日・30日に開催しました。



今回、参加いただいた生徒さんは、1年生9クラス約360人、県議会議員は1日4人計12人が参加し、私は28日に参加しました。当日の意見交換会の様子を報告いたします。

高校生シンクタンクUN研究所が埼玉県議会議員に政策提言!

〈意見交換のテーマ〉

*UNとは「浦和西」の略

- 意見交換に参加する埼玉県立浦和西高等学校1年生は、グループごとに自分たちが住む地域の課題を調べ、解決策を考えるといった事前学習を行いました。
- 意見交換会では、生徒自らが地域課題に対する解決策を県議会議員に提言し、意見交換を行いました。

裏面へ



意見交換会がスタート まずは参加議員より自己紹介。

大阪市出身です。小学2年生の時に漫才師、西川きよしの弟子になると決めました。高校卒業と同時に師匠の住み込みの内弟子となり、4年6カ月の修業時に師匠が参議院議員となり、1週間国会事務所の電話番号のために上京。そのまま37年が経過しました。(笑)



3クラス 各クラス2テーマ(6テーマ)について発表

A

1. 見えない高齢者孤立を可視化する
2. 公共施設の充実化

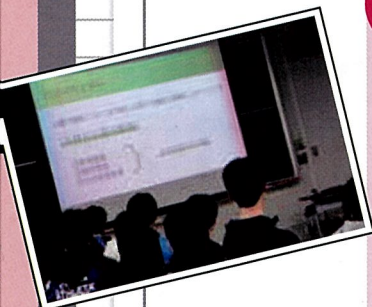


B

1. 上尾と伊奈町は娯楽施設への交通アクセスがわるい
2. 街が汚い！

C

1. さいたまの公園に関する課題について
2. 子どもたちがのびのびと成長できるまちへ



参加議員から発表に対するフィードバックをして、クラスの全体の意見交換がスタート

「さいたま市の子育て世代の増加による学校の過密化について」の指摘に対して

私からのフィードバック

「さいたま新都心周辺の大規模マンション建設によって児童生徒が増加し、市立小学校の過密化が大きな課題となっている事例を紹介。地域の開発段階で将来を予測し、対応を事前に検討するなどの対応が必要ではなかったか」



生徒さんたちの意見を聞きました。

生徒全体の意見交換には、アプリ「slido」を活用して自分の意見を入力し、その内容について議員から質問。その質問に対して生徒さんから意見が述べられるなど、とても活発な意見交換となりました。

総 評

浦和西高校の生徒さんの我々への対応や、生徒さん同士のコミュニケーションの取り方など、とっても素晴らしく、感動的な1日となりました。生徒さんの提言について、今後の議会活動の参考に取組んで参ります。



埼玉県議会議員 小川ひさし プロフィール



1964年 大阪市生まれ
1982年 近畿大学附属高校卒業後、西川きよしに師事。
(～4年6カ月間の内弟子修行)
1987年 参議院議員西川きよし秘書(私設)
1999年 西川きよし政策担当秘書

2011年 さいたま市議会議員選挙初当選
2015年 さいたま市議会議員選挙二期目当選
2019年 さいたま市議会議員選挙三期目当選
2020年 第15回マニフェスト大賞最優秀政策提言賞受賞
2023年 埼玉県議会議員選挙初当選

発行 埼玉民主フォーラムさいたま市北区支部 小川ひさし事務所
〒331-0813 さいたま市北区植竹町1-719-9-102 TEL 048-669-7270 FAX 048-669-7271

info@ogawa-hisashi.jp

小川ひさし

検索

<https://ogawa-hisashi.jp/>

